

専決第1号

教育委員会の所属職員の任免について

教育委員会の所属職員の任免について、大津市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和32年教育委員会規則第5号）第5条の規定により、専決する。

平成24年4月19日 提出

教育長 澤村 憲次

記

異動内示

別紙のとおり

異動内示

平成24年4月1日付
※退職は平成24年3月31日付

教育委員会

【主幹級】		
新所属・職	旧所属・職	職員氏名
教育総務課主幹 (兼) 経理係長事務取扱	料金課主幹	宮田 弘美
学校教育課主幹	契約検査課主幹	石橋 秀樹
生涯学習課主幹 (兼) 人権生涯学習係長事務取扱	国際交流室主幹	中江 英樹
生涯学習課主幹 (兼) 企画公民館係長事務取扱	生涯学習課主幹	南井 亮子
生涯学習センター主幹	生涯学習課主幹	井上 澄子
図書館主幹 (兼) 資料係長事務取扱	南郷支所主幹 (兼) 南郷公民館主幹	横田 節子

【係長級】		
新所属・職	旧所属・職	職員氏名
学校保健体育課主査	学校保健体育課主任	細矢 由起子
生涯学習課主査	保健予防課主任	川端 啓嗣
市民スポーツ課主査	職員課主査 (兼) 職員健康管理室主査	森本 和也
歴史博物館主査 (兼) 文化財保護課主査	歴史博物館主査	木津 勝

異動内示

平成24年4月1日付
※退職は平成24年3月31日

教育委員会

【主任】		
新所属・職	旧所属・職	職員氏名
教育総務課主任	路政課主任	一井 孝幸
教育総務課主任	教育総務課	加藤 高明
学校教育課主任	学校教育課	下 茜
図書館主任	納税課	伏原 尚子
市民スポーツ課主任	市民スポーツ課	羽山 宏樹
文化財保護課主任 (兼)埋蔵文化財調査センター主任	文化財保護課 (兼)埋蔵文化財調査センター	西中 久典

【一般】		
新所属・職	旧所属・職	職員氏名
教育総務課	戸籍住民課	大橋 菜津子
教育総務課	廃棄物減量推進課	中島 裕一
教育総務課	(新規採用)	高橋 俊裕
学校教育課	(新規採用)	大内田 季良子
学校保健体育課	路政課	後藤 大輔
生涯学習課	自治協働課	中鹿 由貴
生涯学習課	(新規採用)	瀬崎 好聡

異動内示

平成24年4月1日付
 ※退職は平成24年3月31日

教育委員会

【出向大津市役所】		
井上 善治	大沼 康三	塩野 博之
玉井 泰子	吉田 美紀	二ノ宮 尚樹
堀井 雪江	中岡 浩一	中野 利直
中井 佳樹	西村 幸一郎	神山 友宏
島村 一哉	鹿島 良平	仁志出 彰子
森元 秀幸	谷口 知代	樋爪 哲也
野田 由美子		

【出向選挙管理委員会事務局】
石川 博章

退職者

【主任】	
職員氏名	旧所属・職
伊藤 真紀	生涯学習課主任

異動内示

平成24年4月1日付
※退職は平成24年3月31日付

(幼稚園教育職員関係)

【係長級・保育主任級】		
新所属・職	旧所属・職	職員氏名
学校教育課主査 (兼)教育総務課主査 (兼)藤尾幼稚園	瀬田南幼稚園保育主任	井上 真矢子
生涯学習課主査 (兼)伊香立幼稚園 (兼)福祉子ども部福祉政策課伊香立児童館主査	生涯学習課伊香立児童館主査 (兼)伊香立幼稚園	鈴木 久美子
生涯学習課主査 (兼)堅田幼稚園 (兼)福祉子ども部福祉政策課堅田児童館主査	生涯学習課堅田児童館主査 (兼)堅田幼稚園	玉木 美奈子
生涯学習課主査 (兼)坂本幼稚園 (兼)福祉子ども部福祉政策課坂本児童館主査	生涯学習課坂本児童館主査 (兼)坂本幼稚園	木津 祐紀子
生涯学習課主査 (兼)志賀幼稚園 (兼)福祉子ども部福祉政策課皇子が丘児童館主査	生涯学習課皇子が丘児童館主査 (兼)志賀幼稚園	河原田 仁美
生涯学習課主査 (兼)膳所幼稚園 (兼)福祉子ども部福祉政策課膳所児童館主査	生涯学習課膳所児童館主査 (兼)膳所幼稚園	逢澤 久美
生涯学習課主査 (兼)田上幼稚園 (兼)福祉子ども部福祉政策課田上児童館主査	生涯学習課田上児童館主査 (兼)田上幼稚園	坂田 玲子
真野幼稚園保育主任	下阪本幼稚園保育主任	河井 園美
仰木幼稚園保育主任	志賀北幼稚園保育主任	田中 由佳梨
仰木の里幼稚園保育主任	真野幼稚園保育主任	松岡 ひとみ
下阪本幼稚園保育主任	仰木幼稚園保育主任	松井 道子
瀬田南幼稚園保育主任	瀬田幼稚園保育主任	村田 優子
瀬田幼稚園保育主任	仰木の里幼稚園保育主任	浅野 真美

異動内示

平成24年4月1日付
 ※退職は平成24年3月31日付

(幼稚園教育職員関係)

【一般教員】		
新所属・職	旧所属・職	職員氏名
志賀北幼稚園	仰木の里幼稚園	平田 藍
志賀南幼稚園	志賀北幼稚園	青木 香里
真野北幼稚園	瀬田北幼稚園	飛田 多加子
仰木の里東幼稚園	唐崎幼稚園	細見 美生
雄琴幼稚園	真野幼稚園	大久保 佳代
坂本幼稚園	志賀幼稚園	伊藤 真実子
下阪本幼稚園	(新規採用)	高崎 律子
唐崎幼稚園	志賀南幼稚園	武舎 裕子
志賀幼稚園	富士見幼稚園	山下 真理子
比叡平幼稚園	坂本幼稚園	中村 千賀子
藤尾幼稚園	膳所幼稚園	東口 照美
大津幼稚園	唐崎幼稚園	山本 理恵
平野幼稚園	瀬田東幼稚園	吉田 理子

異動内示

平成24年4月1日付
 ※退職は平成24年3月31日付

(幼稚園教育職員関係)

【一般教員】		
新所属・職	旧所属・職	職員氏名
平野幼稚園	瀬田北幼稚園	石黒 真依
膳所幼稚園	(新規採用)	長谷川 葵
晴嵐幼稚園	(新規採用)	酒井 真希
石山幼稚園	大石幼稚園	細尾 祥子
石山幼稚園	瀬田幼稚園	西村 彰子
南郷幼稚園	(新規採用)	荻田 亜耶子
田上幼稚園	石山幼稚園	西村 賀奈子
青山幼稚園	石山幼稚園	高倉 智子
瀬田南幼稚園	晴嵐幼稚園	橋本 幸奈
瀬田幼稚園	長等幼稚園	竹内 祐子
瀬田幼稚園	瀬田南幼稚園	三宅 早紀
瀬田東幼稚園	青山幼稚園	藤本 愛満
瀬田北幼稚園	平野幼稚園	富田 真樹

異動内示

平成24年4月1日付
※退職は平成24年3月31日付

(幼稚園教育職員関係)

退職者

【係長級・保育主任級】	
職員氏名	旧所属・職
奥村 美智子	生涯学習課小野児童館主査 (兼)志賀南幼稚園

【一般教員】	
職員氏名	旧所属・職
本藤 阿沙子	下阪本幼稚園

異動内示

平成24年4月1日付
 ※退職は平成24年3月31日付

(学校園関係)

【一般】		
新所属・職	旧所属・職	職員氏名
葛川小学校班長待遇	国民健康保険葛川診療所班長待遇	上谷 美枝
仰木の里小学校班長待遇	仰木の里小学校	松川 孝子
藤尾小学校班長待遇	石山中学校班長待遇	竹田 隆司
中央小学校	瀬田東小学校	西田 一博
志賀中学校班長待遇	志賀中学校	藤田 眞弓
志賀中学校班長待遇	志賀中学校	竹内 直美
仰木中学校	瀬田北中学校	山本 武彦
瀬田中学校	南郷中学校	小林 洋治

退職者

【一般】	
職員氏名	旧所属・職
東 正夫	志賀北幼稚園班長待遇
中西 眞佐子	仰木中学校班長待遇

専決第2号

平成23年度における大津市教育委員会の所属職員の休職について

平成23年度における大津市教育委員会の所属職員の休職について、大津市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和32年教育委員会規則第5号）第5条の規定により、専決する。

平成24年4月19日 提出

教育長 澤 村 憲 次

記

所属職員の休職

別紙のとおり

専決報告第2号

平成23年度における大津市教育委員会の所属職員の休職について

	所属区分	職種	期間
1	事務局	指導主事	平成24年2月29日～平成24年3月31日
2	事務局	事務職員	平成23年8月14日～平成24年3月31日
3	事務局	技術職員	平成22年11月7日～平成24年9月30日
4	学校園以外の教育機関	事務職員	平成23年10月5日～平成24年6月4日
5	中学校	技能労務職員	平成24年1月7日～平成24年3月31日
6	幼稚園	幼稚園教員	平成22年8月31日～平成23年6月30日
7	幼稚園	幼稚園教員	平成23年9月3日～平成24年5月31日
8	幼稚園	幼稚園教員	平成23年7月14日～平成23年7月16日

損害賠償等の事案一覧(平成23年度)

H24.4.19現在

○継続

	今年度の取組	今後の予定
平成18年4月 市立中2年女子 水泳部活動準備中 プールサイドにて 左手中指先断裂	現在19歳 高校卒業	
	H20年6月 同高を訪問し、学習・生活状況確認 留意事項について協議	
	12月 横浜の病院に入院、人工骨手術	
	H21年1月 退院、術後治療は市内病院で継続	
	2月・4月 保護者との面談	
	7月 交通費等一部前払 500,000円	
	8月・12月 東京で術後検診、人工骨定着確認	
	H22年2月 市内病院で継続受診、経過観察	
	H22年4月 市内病院で定期的に受診、指先の経過観察 学校・市教委から定期的に母親へ連絡、相談	訴訟代理人と委任契約を結び、示談交渉を進めているところであり、今後も示談に向けて交渉を進めていく。
	10月 保護者との面談、今後に向けて相談	
H23年3月 保護者に面談し、症状固定の手続きをすすめていく予定		
H23年9月 日本スポーツ振興センターに障害見舞金決定		
H24年2月 示談交渉開始		
H24年3月 訴訟代理人との委任契約		

○新規

	今年度の取組	今後の予定
平成23年10月 市立中2年男子 転落事故死	H24年2月 大津地方裁判所に損害賠償を求める訴状が提出される。	H24年5月 第1回口頭弁論 今後については、弁護士、総務課と協議を進めながら、口頭弁論の準備を進めていく。

平成24年2月市議会定例会教育長答弁報告

【代表質問】

◎草川 肇議員（市民ネット21）

●質問事項：老朽化施設の改修について

これからも、計画的に老朽化している教育施設、設備の改修改善に努めるべきと思うが、見解を伺う。

○答弁要旨

これまでも、厳しい財政状況のもと、トイレの水まわりの改修工事等、必要に応じ、工事を実施し、また校舎内の建具・電気設備の更新などについても学校、園と協議し対応してきたところである。今後も国庫補助金などの財源確保に努めながら、年次的、計画的に大規模改造工事を実施していきたいと考えている。

●質問事項：加配教員の増員について

今日的な教育課題解決に向け、どのような施策を取り入れるのか、加配教員の増員について見解を伺う。

○答弁要旨

加配教員の増員について、これまでいじめや不登校などの生徒指導上の課題等に応じて、小中学校に市単費の生徒指導協同推進教員を配置してきたところである。しかし、一層複雑化する教育課題の解決に向けては、より多くの教員による子どもの観察や関わりが重要であると考えており、学校規模や学校課題等を考慮しながら段階的に市単費の教員の増員に努めたいと考えている。

◎園田 寛議員（大志会）

●質問事項：教育の目標について

教育の目標は、市民の代表である市長の意見も反映することが望ましいと考えるが、見解を伺う。

○答弁要旨

市長と教育委員との定期的な懇談を設定する中で、教育に対する互いの思いや考えを十分に意見交換し、学校教育の目標や方向を定めていきたいと考えている。

●質問事項：全国一斉学力テストについて

全国一斉学力テストをどのように活かすのか、その見解を伺う。競い合ってこそ前進進歩が生まれると考える。その意味で全国一斉学力テストもその順位を公表し、良い意味で競争をすることが学力向上の上で大切だと考える。また、自分より優れている者は評価し賞賛して、追いつこうとする意欲を持つことが重要と考えるが、見解を伺う。

○答弁要旨

競争については、全面的に否定するものではない。競い合う気持ちから意欲が生まれ、様々な場面において子ども達が自分の力を伸ばすということは当然であろうかと思う。一方、子どもたちは、学校という集団の中で様々な経験を積み重ね、自信を深めることで意欲を高めて

いくものとする。

このようなことから、全国学力・学習状況調査において、学校ごとの順位、子どもの個別の順位を公表することによって、過度の競争心をつけることについては、避けたいと考えている。

なお、本調査の目的は、児童生徒の学力や学習状況を多面的に分析することである。本市では、今後も、日常の評価活動、小テスト、定期テストの結果等の状況を踏まえながら、各学校の学力向上策をさらに改善するための資料として活用していきたいと考えている。

●質問事項：ゆとり教育について

ゆとり教育についてどのように評価するのか、見解を伺う。

○答弁要旨

「ゆとり教育」については、教育課程の編成等を工夫しながら、基礎的な知識技能の習得とこれらを活用する力の育成に努めてきたが、授業時数が削減される中で、習得した知識技能を活用する時間が不足するなどの課題もあったと総括している。新学習指導要領については、各学校で改訂の趣旨を十分に活かした教育が推進されるよう、指導・助言していきたいと考えている。

●質問事項：国歌国旗について

入学式、卒業式、成人式で来賓が国歌斉唱時に起立していないことは、子どもや新成人にどんな影響を与えているか。また、改善策について見解を伺う。

○答弁要旨

小・中学校の入学式や卒業式、成人式は、厳粛かつ清新な雰囲気の中で、集団への所属感を深めることができるよい機会と捉えている。学校においては、国旗を掲揚し、国歌を斉唱するよう指導を行っており、来賓の行動によって、子どもたちの行動に直接影響を与えているということは見受けられない。来賓の方々には、そうした儀式の意義を踏まえ、今後とも、式の進行等ご協力をお願いしたいと考えている。

●質問事項：先生は聖職者かについて

先生は崇高な仕事であり、「聖職者」として社会的評価を得て尊敬される立場に置かれるべきだと考えるが、見解を伺う。

○答弁要旨

教員は、教育者としての崇高な使命を自覚し、子どもに対する深い教育的愛情を持つことが必要である。また、広く豊かな教養に加え、専門的な知識を高めることも求められている。教員が尊敬される立場に置かれることは大切であると考えますが、その尊敬の念は、教員の絶え間ない研究と修養や、日々の教育実践の結果として得られるものでなければならないと考えている。

●質問事項：制服について

制服の意義と私服に対する見解を伺う。

○答弁要旨

制服は、集団の連帯感を強め、集団への所属意識や誇りを高める効果があるものと考えている。議員ご指摘の学校においては、生徒が自主的、自律的に行動する力を育成する等

の理由から、その方法の一つとして、服装を自由化している。これは、一定のルールを生徒会で定め、保護者や教職員もともに議論した上で、平成11年から実施しているものである。当該学校においては、当初の思いが風化することのないよう、アンケート集約等を通して、毎年、検証をすすめているところである。

【質疑・一般質問】

◎津田 新三議員（湖誠会）

●質問事項：放課後外国語教室の創設について①

24年度からの外国語授業の時数配分についての見解を伺う。

○答弁要旨

外国語の時数配分については、文科省で示されている標準授業時数に合わせてカリキュラムを作成しており、学習のねらいを達成するための時間数としては必要な時間数であると考えている。

●質問事項：放課後外国語教室の創設について②

学校教育での国語の学習についての見解を伺う。

○答弁要旨

外国語教育の充実とともに国語教育の充実も必要であると考えている。

◎塚本 正弘議員（日本共産党大津市会議員団）

●質問事項：養護学校・特別支援学校増設要望について

特別支援学校マンモス化解消について、市内にもう1校設置の要望をしてはどうかと考えるが、見解を伺う。

○答弁要旨

設置者である県教委が示した対応策の動向を注視していきたいと考えている。

●再問：特別支援学校の現状について

特別支援学校の現状について、大津市教育委員会の認識について、見解を伺う。

○答弁要旨

課題については認識しており、県教委の対応策の成果を見ながら対応を検討していきたいと考えている。

◎八田 憲児議員（湖誠会）

●質問事項：志賀小学校の整備事業について

昨年の11月議会において、校舎及び体育館の大規模改修を早期に取り掛かるとの市長答弁を受けたが、24年度以降の具体的な取り組みについて、再度本市としての実行計画を伺う。

○答弁要旨

校舎の大規模改修については、まず、バリアフリー化対応として、トイレ改修とエレベーター設置の実施設計にとりかかり、整備を進めてまいりたいと考えている。さらに老朽化した

校舎の防水改修、給排水管や建具・電気設備の更新などについても、大規模改造工事において早期に対応していく必要があると認識している。

また、体育館については、平成24年度から改築を視野に入れた配置検討を行い、運動場拡張と合わせ、整備に必要な用地確保についても検討していきたいと考えている。

なお、これらの整備については、国庫補助金などの財源確保に努めつつ、年次的、計画的に取り組んでいきたいと考えている。

◎中野 治郎議員（湖誠会）

●質問事項：坂本の観光振興と地域活性化について

会派で文化庁に赴き行政視察を行ったが、平成23年度から25年度の間で「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」が実施されている事を知った。平成25年度については、坂本観光協会が中心となって実行委員会を立ちあげ、「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」の申し込みに向けて準備をするので、応援してほしい。あわせて、今後国の補助事業メニューを視野に入れて活用を考えていきたいが、見解を伺う。

○答弁要旨

坂本の観光振興と地域活性化については、国の補助事業を活用して取り組むことで、より大きな効果が得られるのではないかと考えている。「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」は、平成25年度までの継続事業であるところから、実行委員会を組織いただき事業計画が策定されれば、平成25年度の募集時には、大津市からの事業の一つとして文化庁に申請し、採択されるよう努めていきたいと考える。

あわせて、今後とも観光振興や地域活性化に活用できるような国の補助制度について、情報収集とその発信を行っていきたいと考えている。

◎黄野瀬 明子議員（日本共産党大津市会議員団）

●質問事項：学校給食の食材の放射線量測定について

放射線量測定機器導入予算が計上され、来年度から保健所で測定できるようになることから、もう少し対象を広げ、学校給食の食材検査を求めるが、見解を伺う。

○答弁要旨

市場に流通している食材については、基本的に安全であり、また本市では定期的に検査を行い、監視が強化される場所である。放射性物質検査を学校給食に広げることについては、検査方法や人員体制、財政的負担など、様々な課題があることから、慎重に検討していきたいと考えている。

●質問事項：国の平成24年度予算案について

国の24年度予算案で学校給食モニタリング事業が計上されている。大津市で検査の実施を早期に決断し、国の補助金の活用することを求めるが、見解を伺う。

○答弁要旨

学校給食モニタリング事業については、現在、国において審議されているところであるので、注視していきたいと考えている。

●再問：国に対する予算要望への姿勢について

機器導入は、価格も非常に高く自治体財政を圧迫する大きな要因となり、国に予算を求めることは必要だと思う。予算化されるか否か関係なく、国に対し予算を求めていくのは重要であると考えているが、見解を伺う。

○答弁要旨

先に申し上げたように、流通している食品は基本的には安全であると判断している。しかし、市民の不安の声に向き合うことは大切であると考えている。いわゆる安心度を高めるためにどのような検査がよいのか、また人員体制や財政負担も検討する必要があると考えている。4月から全国の保健所で食品監視を強化されることもあり、この状況を見ながら検査の実施方法も、実施の有無も含め、総合的に検討していく必要があると考えている。

◎桐田 真人 議員（大志会）

●質問事項：柔道授業における指導体制と設備・安全対策について①

指導教員への研修・設備安全対策の現状について見解を伺う。

○答弁要旨

大津市では、教育課程研修会や体育主任会において、柔道の安全な指導方法について研修会を実施したところである。また、県主催の「安全な武道指導と事故防止」研修会や大津市主催の「柔道における安全指導の考え方や事故を発生させない指導技術」講習会等で研修を重ね、指導教員の指導力の向上に努めてきたところである。平成24年度にも実技講習会を開催するとともに「柔道の指導指針」を作成し、安全に配慮して柔道の授業を行っていききたいと考えている。設備の安全対策は、武道場の整備を計画的に行うとともに、クッション性の高い畳に入れ替え設備の充実を図っていききたいと考えている。

●質問事項：柔道授業における指導体制と設備・安全対策について②

競技団体や地域柔道経験者との連携について見解を伺う。

○答弁要旨

県の事業である「外部指導者活用事業」を利用する中で関係機関と連携していききたいと考えている。また、競技団体や地域指導者から協力の申し出があり、今後、関係団体の協力を得て複数の指導者による指導が行えるよう検討していききたいと考えている。

◎清水 ひとみ 議員（公明党議員団）

●質問事項：母子健康手帳への健康の記録について

一生の健康記録をつけていく習慣づくりを教育の場でも促すことにより、健康意識の向上につながると考えるが、見解を伺う。

○答弁要旨

小中学校では、発育状態や健康診断の結果を「健康の記録」に記入し、本人や保護者に知らせるとともに、自分の体や健康に関心を持たせ、健康管理に役立てている。また、生涯を通じて健康の記録をつけていく習慣が、健康意識の向上や健康管理のために必要であると認識しており、今後、児童生徒自らが、記録するよう指導するとともに、保護者に対

しても健康の記録を母子健康手帳に転記することなど、保健便り等を通じて啓発していきたいと考えている。

●質問事項：母子健康手帳の教育現場での活用について

学齢期に応じた母子健康手帳の教育現場での活用は大変有効だと考えるが、見解を伺う。

○答弁要旨

母子健康手帳には、教育に役立つ有用な資料が数多く掲載されていると認識している。母子健康手帳を教育現場で活用することについては、複雑な家庭背景の子どもたちもあり、そのことに十分配慮しながら活用していくことが大切であると考えている。

●質問事項：柔道の授業の安全性について①

体育科教員の柔道に対する指導力向上のため教員研修計画・内容について見解を伺う。

○答弁要旨

平成21年度から研修会や体実技講習会を開催し、競技団体の講習会へも教員が参加してきたところである。研修会では、学習指導要領の内容、安全配慮事項、指導者の管理責任と指導責任、事故やけがの防止等研修の実施を行ってきたところである。また、実技講習会において「柔道における安全指導の考え方とその実際」として指導のポイントや段階的な指導法などについて研修を重ねてきたところである。平成24年度にも実技講習会を開催するとともに「柔道の指導指針」作成し、安全に配慮して柔道の授業を行っていききたいと考えている。

●質問事項：柔道の授業の安全性について②

今後教員の複数配置や外部指導者を配置していくべきと考えるが、見解を伺う。

○答弁要旨

県の事業である「外部指導者活用事業」を利用する中で関係機関と連携していききたいと考えている。また、競技団体や地域指導者から協力の申し出があり、今後、関係団体の協力を得て複数の指導者による指導が行えるよう検討していきたいと考えている。

●再問：外部指導者の配置時期について

外部指導者の配置は、平成24年度から実施するのか、見解を伺う。

○答弁要旨

教員の複数配置は、県の規定によりできないが、外部指導者の活用については、地域の方々の協力を得ながらできる限り早期に実施していきたいと考えている。

平成24年2月市議会定例会市長答弁報告

【代表質問】

◎草川 肇議員（市民ネット21）

●質問事項：学校昼食の調査内容について

市長 Manifesto の「学校昼食」については、中学校において学校給食の導入ではなく、お弁当の配食サービスと仄聞している。来年度予算にある「中学校昼食調査費」について、調査の視点、あるいは具体的な調査内容を伺う。

○答弁要旨

教育施策については、教育委員会の所管であるが、私の Manifesto のうち特に重要な部分なので、私の思いを述べる。

中学校における配食サービスについては、早期実施のため、早急に調査研究が必要であると認識している。そのために、生徒や保護者、学校へのアンケート調査では、昼食の持参状況や配食サービスの利用希望などを調査するとともに、他都市の事例調査を行い、課題把握に努めていきたいと考えている。

●質問事項：学校昼食導入にいたる今後の計画について

「学校昼食」の調査から本格導入にいたる今後の計画について見解を伺う。

○答弁要旨

次年度においてアンケート調査や他都市調査の結果を基に、新たに設置する検討組織で協議を行い、本市における中学校の配食サービスとしてどういったものがふさわしいのか、その方針を取りまとめた後、昼食業者の選定や予約・集金システムの構築、また、中学校の施設整備など、Manifesto の着実な実現に向け、鋭意取り組んでいきたいと考えている。

◎園田 寛議員（大志会）

●質問事項：外国語教育について

外国語教育を取り入れたい理由とそれを通してどの様な子供達を育てたいのか、見解を伺う。

○答弁要旨

私自身の海外での経験で一般的に日本人の英語力が劣っていることを実感したことと、TOEFL の日本の結果データによるものである。今後日本人は世界で活躍することが求められ、国際社会で生き抜くために外国語教育が重要であると認識し、将来世界に通用する大津の子どもを育成したいと考えている。

●質問事項：学校給食について

中学生については、食事個人差が大きくなり、手作り弁当が望ましいと考えると、それが難しい家庭に絞って配膳サービススクールランチ提供が妥当と考えるが、見解を伺う。

○答弁要旨

一律に提供するか、手作り弁当を持たせる余地を残すかについては、生徒や保護者、学校へのアンケート調査等を踏まえ、今後の検討課題であると考えている。

- 再問：市長の見解について（教育長への質問に対する答弁を受けて、同じ質問を市長へ）
教育の目標は、市民の代表である市長の意見も反映することが望ましい。意見を伺う。

○答弁要旨

学校教育目標は教育委員会の権限であるが、教育委員との懇談を設定していただいているので、その中で、市民の代表として教育に対する考えを十分に伝えていきたいと考えている。

【質疑・一般質問】

◎津田 新三議員（湖誠会）

- 質問事項：放課後外国語教室の創設について①

その外国語は英語なのか何語なのか、またその理由について伺う。

○答弁要旨

まず、英語を考えている。理由としては、英語が世界で広く使われており、私自身の海外での経験で一般的に日本人の英語力が劣っていることを実感したこと、さらにこれからの日本人が世界で活躍するには英語力が重要であると考えたからである。ただし、一定の要望があれば、中国語等、他の言語も視野に入れたものを考えている。

- 質問事項：放課後外国語教室の創設について②

放課後外国語教室の位置づけについて見解を伺う。

○答弁要旨

学校のカリキュラムに位置づけたものではなく、希望者を対象としたものと考えているため、生涯学習の位置づけになると考えている。

- 質問事項：放課後外国語教室の創設について③

外国語授業時数の時間配分や授業内容など具体的な構想について見解を伺う。

○答弁要旨

放課後外国語教室の構想については、学校施設を活用し、聞く・話すを中心としたネイティブスピーカーによる指導を考えている。時間数や内容など具体的なことは、今後、保護者や子どもの意見を伺いながら教育委員会で検討してもらいたいと考えている。

- 再問①：中国を中心としたアジアへの対応について

日本人の英語力が弱いというが、観光客の7割以上はアジア人、貿易相手国1位は中国である。それについての見解を伺う。

○答弁要旨

認識しており、重要だと考える。中国語については希望があれば教えたいと考えている。中国人は日本人より英語ができ、英語力があれば対応できると考えている。

- 再問②：国語力の重要性について

2月25日の新聞に「数学力 とまらぬ低下」という記事があった。概念がわかってお

らず、平均が理解できていない。英会話がうまくなっても、中身が伴わない。やはり国語力は重要ではないかと考えるが、見解を伺う。

○答弁要旨

そのように思う。国語教育も必要であると考えている。

●再問③：日本の伝統文化継承について

日本の伝統文化（わび・さび、情緒）を継承することが国際化につながるのではないかと考えるが、見解を伺う。

○答弁要旨

日本文化を継承することは大事である。日本人として伝えるべきことがないと伝えられないと考えている。

◎石黒 賀津子議員（日本共産党大津市議員団）

●質問事項：市長の考える「中学校給食の意義とあり方」について

2013年度導入を公約した中学校給食について、各業者が弁当を配送するデリバリー方式で、一番最初に費用をかけずに実現したいと意欲的な姿勢を見せているが、市長は学校給食の意義とあり方について、どのようにとらえているのか、見解を伺う。

○答弁要旨

中学校における配食サービスについては、保護者の就労支援や栄養バランスのとれた昼食を提供したいという観点などから、実施していきたいと考えている。

小学校と同様に給食センターを建てて給食実施となると、5年程度の期間や費用も20億から30億程度かかることが予想される一方、保護者の早期のスクールランチ実現の要望に応えるため、業者による配食サービスという形をとりたいと考えている。また、子どもたちに提供する昼食であることから、安全安心はもとより、栄養バランスを考えた豊かな献立となるよう検討していきたいと考えている。

●質問事項：「教育の一環としての中学校給食」という考え方について①

学校給食は教育の一環として位置づけられ、昨年4月に定められた第二次食育基本計画に食育の推進として学校給食の充実があげられている。デリバリー方式のスクールランチで食育推進の取り組みが出来ると考えているのか、見解を伺う。

○答弁要旨

現在、中学校における食育は、技術家庭、保健体育などの関連する教科において食生活と健康について学ぶとともに、学校における「食育の日」を活用して、地域や家庭と連携を図りながら様々な取り組みを行っている。

また、現在、毎日のお弁当を通して栄養バランスや豊かに楽しく食べる大切さ、作ってくれた人への感謝の気持ちなどを育む指導をしていることを踏まえると、スクールランチにおいても同様の食育は推進していけると考えている。

●質問事項：「教育の一環としての中学校給食」という考え方について②

子どもたちが心身ともに健全に発達し、食事について、また、食料の生産や流通・消費についての認識を深め、学校生活を豊かにする学校給食を望むならば、自校方式の給食を検討すべきではないかと考えるが、見解を伺う。

○答弁要旨

議員が述べるような学校給食を実施するとなると時間も費用もかかることから、まずは、保護者の切実な願いに早急に応えるため、学校にお弁当を運ぶという形で実施したいと考えている。具体的なことは、今後、教育委員会で検討する予定である。

●再問①：スクールランチの対象について

スクールランチ、配食サービスは、補完的な部分でお弁当を持ってこられない子どもに対してのものなのか、それともすべての子どもたちに対してという意味で考えているのか、見解を伺う。

○答弁要旨

今回予定しているスクールランチというものが補完的なものなのか、それともすべての生徒に対して提供するものなのかというところについては、今後、検討していきたいと考えている。これからアンケート等とる中で、こういった形を希望されているのかということ踏まえて検討していきたいと考えている。

●再問②：学校給食推進の文言について

学校給食法や第二次食育基本計画などで学校給食を推進するべきといった文言について、市長はどうとらえているのか、見解を伺う。

○答弁要旨

スクールランチについても当然食育というものを推進していければと思う。その他の教科についても食育は推進できると考えている。

●再問③：スクールランチへの保護者の要望の反映について

今9割近くのお母さんがお弁当を作っている中で、88%の保護者が「給食があれば利用したい」といわれている。自分たちが作っているお弁当では不十分という思いがあると思う。夏であれば暑い中決まった食材しか入れられないし、安全性も不安であるとか、冬の寒い時には味噌汁があればいいとか、そういう保護者の願いに応えられる給食でないと、早く実現したにも関わらずこんなはずではなかったと思われたいのためにも、保護者の願いに沿った給食にしていきたいと思うが、見解を伺う。

○答弁要旨

保護者の願いというところは私もまさにそのとおりと考えているので、今後のアンケート結果をスクールランチに生かしていければと考えている。